

プラント状況（本店レク）議事メモ

日時：平成23年3月30日（水）11:45～12:50

場所：東京電力本館1階101AB会議室

先方：記者約60名（カメラ6台）

当方：原子力設備管理部

福島第一原子力発電所

柏崎刈羽原子力発電所 第一運転管理部

本店広報部

配布資料：

- ・東北地方太平洋沖地震による影響などについて【3月30日午前9時現在】
- ・福島第一原子力発電所付近の海水からの放射性物質の検出について（第十報）
- ・福島第一原子力発電所敷地内における空気中の放射性物質の核種分析の結果について（第九報）
- ・福島第一原子力発電所トレンチにおけるサンプリングの分析状況について
- ・福島第一原子力発電所モニタリングカーによる計測状況
- ・福島第二原子力発電所モニタリングによる計測状況
- ・福島第一原子力発電所仮設モニタリングポストによる定点計測状況
- ・福島第一原子力発電所1～3号機プラント状況
- ・福島第一原子力発電所1～3号機原子炉圧力容器周辺温度 [°C]

【質疑】

Q. 1F構内に飛散している放射性物質の粉塵飛散防止のための新たな取り組みを実施すると聞いたが、どのような内容か。

A. 特段聞いていなく、お話できる状況にないと思うが、内容を確認する。（宿題）

Q. 海水から基準値の3千倍の値が検出されているが、どのように受け止めているか。

A. 流出経路を調査しているが特定できていない。引き続きモニタリングしていく。

Q. 原子炉が安定しているとの説明であったが、一方でモニタリングの値が高くなっていることをどう考えているか。

A. 引き続きモニタリングして確認していきたい。

Q. トレンチ以外に考えられる流出経路は。

A. 経路については調査中。

Q. 経路特定の見込みは。

A. 現時点ではなんとも言えない。

Q. トレンチから流出した可能性は。

A. 可能性は否定できない。

Q. 3千倍もの数値は、海産物や魚へ影響が出るのか。

A. 海産物の摂取様態を考えると、現状で直ちに影響があるものではないと考えている。

Q. 人体への影響は。

A. この濃度の水を2.5リットルを1年間毎日飲んだら3,300mSvの被曝を受けるというものであり、大きな影響はないと考えている。

Q. 検出値が低減傾向からここにきて増加しているが、流出候補の選択肢をどう考えているか。

A. 流出経路については調査中。

Q. 1号機のトレンチは土嚢とコンパネを設置していても流出したのか。

A. 可能性は否定できない。1号機トレンチの分析結果から見ると、3千倍の要因ではないと 考えている。

Q. 1号機トレンチの水はどこから来たのか。

A. 津波の影響が高いと考えている。

Q. 海の環境モニタリング測定のポイントを増やすようにNISAから指示が出ているが。

A. もう少し沖合いにポイントを設ける予定。また、陸側も測定していく予定。

Q. ヨウ素132が検出されているが、これは現在も核分裂が起きているということか。

A. 検出されているヨウ素132は、核分裂生成物として生成したテルル132が壊変した核種と 考えている。

親核種テルル132の半減期は78時間の半減期であるのに対して、娘核種ヨウ素132は2.3時間の半減期であり、放射平衡の関係にある。これが継続的に検出されているものと考えている。

Q. テクネチウム99mはモリブデン99の娘核種だが、なぜモリブデン99が検出されていないのか。

A. モリブデン99は検出限界値付近で結果として検出されていないが、検出限界値未満であるものの、わずかながら検出されていると思われる。

Q. 検出限界値未満であれば、より精度が高く検出できる機器を持っている期間に分析してもらおうという手段もあるのではないか。

A. 現時点では本分析結果で問題ないと考えている。

Q. トレンチ内の溜まり水とタービン建屋内の溜まり水の関連性はあまりないと考えているのか。サンプリングポイントをよりトレンチに近い箇所に変更すれば関連性が出てくるのではないか。

A. タービン建屋内のトレンチに近い箇所でサンプリングしている。

Q. トレンチ内の水は津波の可能性が高いと言いつつ、放射性物質が検出されているの

はどういうことか。

A. 調査しているところ。

Q. 排水処理の方法は。

A. まずは成分の分析をしているところ。

Q. 2、3、4号機のトレンチ内の溜まり水の分析結果はいつ頃になりそうか。

A. 2号機：線量が高いこともあり、検討中。

3号機：3/30に採取予定

4号機：瓦礫あってサンプリングポイントにアクセスできない状況。

Q. 15万ベクレルの数値をどのように見ているのか。

A. かなり高い数値であると考えているが、影響については調査中。

Q. 水の処理作業のために、アメリカからロボットを調達するという話があるが、事実か。

A. 確認させていただく。

Q. 原子力安全・保安院によると「トレンチの水を1m下げるために廃棄物処理建屋に水を移送する」とのことであるが、事実か。

A. 現時点でそのような情報は把握していない。

Q. トレンチの水位に変化はないのか。

A. 現時点で水位が変わったという情報は入っていない。

Q. タービン建屋の溜まり水の排水作業の状況は。

A. A. タービン建屋地下階のたまり水については、復水器へ移送することを検討中。処理状況は以下。

1号機・・・実施中（3月24日、17時頃～ 水中ポンプ1台排水開始、
3月27日、15:10～ 水中ポンプ3台を使ってホットウェル
に排水（約20トン/h）。復水器が満水であったことから、
3月29日7時半ごろ排水停止。
復水貯蔵タンクからサプレッションプール水サージタンクへの移送
準備中)

2号機・・・排水処理準備中
（3月29日 16:45～ 復水貯蔵タンクからサプレッション
プール水サージタンクへの移送中)

3号機・・・排水処理準備中
（3月28日、17:40～ 復水貯蔵タンクからサプレッション
プール水サージタンクへの移送中)

4号機・・・作業は未定

Q. 原子力安全・保安院によると「1号機のトレンチの水位が20cm低下した」とのこと

だが、事実か。

A. 28日朝から29日21時頃までで数cm(1~2cm)水位が低下したという情報があるが、詳細は確認させていただく。

Q. 復水器が満水になった場合、代わりの移送場所はどこか。

A. 現時点で検討中。

Q. 復水器の水の線量はどの程度か。

A. 原子炉停止中であれば、線量はない。運転時については確認させていただくが、1ミリシーベルト程度と思われる。

Q. 1号機の復水器の移送ポンプは自動で停止したのか。

A. 復水器が満水であったことから、3月29日7時半ごろ排水を停止させた。

以上